



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

…つぶやきサロン…

不器用にのんびりと回り道。そして、とびっきりの笑顔さえあれば

なんだか何でも早く見えてしまうのは気のせい？
例えて言うなら、街がビデオの早送りみたい。

私って、はっきり言って不器用。

人の流れについていけないのはまるで私の人生みたい。

これじゃダメと流れに乗ろうとしたけど、結局、自分が落ちこぼれのように思えてね。

何もかもイヤになって途中棄権も考えたんだけど、この人生というマラソンは棄権したら再び走ることはできないんだよね。

そう考えたら、早く走り去るのを無理に追わなくてもいいんじゃないかなあって。

ゴール地点は皆それぞれ違うんだから立ち止まったって、後戻りしたって、早く着こうとしなくたっていいんじゃないかな。

最近、強くないと！早くないと！のあまりになんとか笑顔より険しい顔を多く見るような気がするんだ。

私は、これでもかと苦しいことばかりあったのに本当に不器用。

でも、おかげで不思議とつらいことを笑って話せるようになったし、どんな人にもありのままの私を見せられるようになった。

なぜだろう。そこが今一番大切に必要なものかもね。

私の支えは家族、リコーダー、人との出会い。

誰もが重い荷物を背負って生きているから、演奏と経験を語ることでその荷を軽くすることができるなら…。

REB ネットはそんな思いで活動して今年で5周年。

私の語りと演奏を生きる希望とまで感じてくださる方がいらっしゃる限り、日本全国飛んで行きたいと思っているのでいつでも声をかけてください。

4月から専門相談員になりました。相談というよりは、

ゆっくりおしゃべりしませんか？

今だからこそちょっと「無駄な時間」をすごしてみませんか？



リコーダー・アース・ブリッジ・ネット (REBネット) 原田大裕

第78回・サポートセンターの日/2008・4・25

～太鼓や落語で市民活動～



漣懸はまゆう太鼓
代表責任者 中西 樹一さん

平成17年3月にイベント出演に向けて芦屋町の山鹿公民館で太鼓の練習をしていたところ、子ども達が興味を示すので休憩中に打たせていました。この様子を見ていた館長が夏休みに子ども向けに和太鼓教室を企画したのが「漣懸はまゆう太鼓」の始まりです。和太鼓教室をしていくうちに次第にメンバーが増え、障がいを持っている子も一緒に和太鼓演奏のボランティア活動をするようになり、活動の場も増えました。初年度の平成17年度は公演回数も9回でしたが、18年度は20回、19年度は48回となりました。

現在の会員数は発達障がい児2名を含む幼児から70歳代までの19名です。

練習は毎週木曜日と土曜日、公演が土曜日や日曜日に入るので、子ども達からは「遊ぶ時間がな～い」という声も出てきています。

ボランティア活動の上、障がい児も一緒に活動しているということで、色々なところから助成を頂いています。和太鼓や篠笛、キーボード、ビデオカメラやパソコンなど活動に必要なものを揃えました。

今後の課題は、後継者育成や会の活性化の為に、中学生、高校生、大学生、20代の方々にもっと参加していただくこと、また、太鼓運搬のボランティアやプレーヤーになってくださる方が増えることです。

また、デイケアセンターに定期的に訪問していることから、活動の中心になっている子ども達には、もっと認知症について理解を深めてもらうことも重要だと思っています。

先日デイケアセンターの職員の方から『太鼓は懐かしい響きの為か、皆さんの表情はとても穏やかで、音楽療法としても良いです。また、子ども達を心配そうに見守っておられ、一人の大人としての温かな表情は中々普通のデイ生活では見受けられない表情です。』というお便りを頂きました。活動をやってきた私達にとって大変嬉しく、今後の励みになっています。



噺の会 じゅげむ小倉出張所
代表 山椒家 小粒 さん

学生時代に新宿の末広亭で聞いた故・古今亭志ん朝師匠の「野ざらし」がきっかけで、粋で、艶があって、可笑しいという落語の魅力の世界にシビれてしまいました。

東京で20年間勤務をした後、大阪へ転勤した平成13年11月、高槻市に本部を置く『噺の会 じゅげむ』の活動をNHKのテレビ放送で知り、活動に参加したいと思い、会員になりました。当会唯一の江戸落語として活動していましたが、平成15年3月に転勤となり、北九州に来ました。当時、北九州では市民活動として落語ができる場がありませんでしたが、落語を続けたいという私の思いに対して協力をしてくる方が現れ、その年の6月の『到津たなばたまつり』で北九州に来て初めて落語を行う機会に恵まれました。

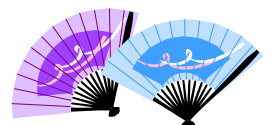
この高座のお客様は子ども達ばかりでした。会場から「寿限無言えるよー」と手が拳がったりして、最初から子ども達のペースでしたが、北九州での初高座を無事に終えることができました。

その縁で落語をもっと身近に感じてもらえるようにと、到津市民センターで落語の講座“落語っこクラブ”を開講しました。上は74歳、下は3歳と幅広い年齢層の方々を受講されています。

このことがきっかけで、同年8月に「噺の会 じゅげむ小倉出張所」を旗揚げし、現在男性2名、女性8名の計10名のメンバーが活動しています。

主な活動は“落語っこクラブ”の他にイベントなどで落語をする出前寄席、子どもを対象に落語をする子ども落語、敬老会などで落語をするシルバー落語、落語の講座を依頼されたときにする落語教室、朝日さんさん広場で隔月(偶数月)に落語をする“さんさん寄席”等があります。

これからも落語の楽しさや笑いを広めて、皆さんに元気になっていただきたいと思っています。





情報のひろば

イベント・ボランティア

北九州NPO研究交流会第85回定例会 「場所をつくる・人が支える ～玉名市まちの保健室 イコイバの5年の歩み」

人を支える場所をつくり、さらにその場所が人を支え、育てている事例をうかがいます。

○日時：6月13日（金）18：30～20：30

○参加費：会員100円、一般500円

学生100円

○スピーカー：久佐賀眞理さん

（九州看護福祉大准教授）

○会場：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”
小セミナールーム

○主催・問合せ：北九州NPO研究交流会
090-6639-9789

（オオイシ）

ほたるフォトコンテスト



「ほたるのいる風景」をテーマとした写真作品を募集します。

○応募作品：平成19年4月以降に撮影された北九州市内のホテルの写真でサイズは2L
未発表のオリジナル作品 1人5点まで

○賞：最優秀賞（1点）3万円分商品券
優秀賞（3点）1万円分商品券
奨励賞（5点程度）3,000円分商品券

○応募締切：6月30日（月）当日必着

○応募方法：応募作品1点につき、応募用紙に必要事項を記入して下記まで郵送

○申込み・問合せ：北九州市建設局水環境課ほたる係
北九州市小倉北区内1-1
TEL：093-582-2491
FAX：093-561-5758

<http://www.qbiz.ne.jp/cecera/hotaruf/news20080410.html>

レクリエーションインストラクター養成講座

豊かな心を育てるレクリエーション・インストラクターを養成しています。

○日時：6月8日（日）～翌年3月1日（日）

○会場：TOTO研修センター・北九州市立もじ少年自然の家 他

○費用：30,000円

※宿泊研修や事業参加等の費用が別途必要

○定員：30人

○締切日：5月30日（金）定員になり次第締切

○申込方法：申込書に記入のうえFAXまたは郵送

○申込み・問合せ：

NPO法人北九州市レクリエーション協会

北九州市小倉北区三萩野3-3-1

TEL：093-921-2801

FAX：093-921-2802

メインストリート・プログラム参加者募集

障害の「ある」「ない」にかかわらず、バスや電車などの公共機関を使って一緒に街へ出かけ、楽しみながら行動する力をつけ、自立して行くために必要な関わり方を学びます。

○日時：6月22日（日）10：00～16：00

○集合場所：小倉駅3階

○活動場所：リバーウォーク北九州周辺

※雨天の場合は行き先を変更

○定員：15人

○費用：500円

○締切日：6月15日（日）

○申込み方法：電話またはFAX

○申込み・問合せ：NPO法人

北九州自立生活センター

北九州市小倉北区馬借2-5-19

TEL：093-541-0130

FAX：093-541-5770

助成金情報

★第2回 よみうり子育て応援団大賞

子育てサークル、男性の育児参加、女性の就労支援子どもの福祉などの活動を行っている民間のグループ・団体を対象に表彰。

○表彰：大賞（賞金200万円）1団体
奨励賞（賞金50万円×2年継続）2団体

○締切：6月10日（火）必着

○読売新聞大阪本社「よみうり子育て応援団大賞」事務局

〒530-8551 大阪市北区野崎町5-9
TEL：06-6881-7389
FAX：06-6881-7379

<http://osaka.yomiuri.co.jp/ouendan/taisyo/index.htm>

★藤本倫子環境保全活動助成基金

日本国内における自発的で、継続的な環境教育や地域における環境保全などの活動を助成の対象とします。

○助成金額：1活動（同一年度内1申請者1活動に限る）
あたりの助成金額は30万円を上限

○募集期間：6月2日（月）～7月15日（火）

○財団法人日本環境協会「藤本倫子環境保全活動助成基金」運営管理委員会事務局

〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9
ダヴィンチ神谷町2F

TEL：03-5114-1251

FAX：03-5114-1250

3 <http://www.jeas.or.jp>

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年3月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	32,828	31,646	355
【福岡県】	1,169	1,136	1
内閣府	2,932	2,725	117
全国計	35,760	34,371	472

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年4月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	236	232	—

2008年4月に認証された特定非営利活動法人

- 特定非営利活動法人シャイン（4月9日認証）
- NPO市民のための睡眠障害を考える会（同上）
- NPO法人フォーラム富野（4月24日認証）
- 特定非営利活動法人
先端芸術クリエイティブ・センター（同上）

助成申請団体による公開審査 (プレゼンテーション) を見に来ませんか？



北九州市が行うNPO助成事業「平成20年度NPO公益活動支援事業」（愛称：きらきら）の公開審査（第二次審査）を行います。興味のある方はご参加ください。

- 日時：5月26日（月）14：00～16：00
- 場所：“ムーブ”5階 小セミナールーム
- 参加方法：氏名・連絡先を事前に下記まで。
- 参加申込み先：市民活動サポートセンター

「北九州市民サミット2008」 が開かれました。

25の団体・企業が活動発表



市民有志の実行委員会による「北九州市民サミット2008」が、さる4月19日（土）に若松市民会館で開催されました。

『つながれ！100万人の1歩！！～私たちが活動を続ける理由（わけ）』をテーマに、企業3社を含む10団体の活動と3つの協働事例のプレゼンテーションが行われた他、ブースによる15団体の活動発表も行われました。

この取組は今回で3回目となります。当日の参加者は約400名。皆さん、各団体の個性豊かな取組に熱心に耳を傾けていました。

また、開催場所が若松区ということで、若松で活動している団体や企業も多く参加され、ブースでは若松の新しい名物となっている「かっぱがー」が販売されるなど、地域色豊かなサミットとなったようです。

最後に、市民発！の共同宣言が行われ、各団体の連携・協働を深め、市民主体の地域づくり・まちづくりを進めていこうという熱い気持ちを共有することができました。


北九州市の市民活動の輪が大きく広がっていくことを感じた一日でした。

編集後記

新年度が始まって1ヶ月余り。新しい環境の中でちょっと疲れたあなたへ、心癒される一冊の絵本をご紹介します。

かば君が様々な仕事に挑戦する「ぼちぼちいこか」。

何をやっても失敗ばかりのかば君ですが、そのコミカルな表情や関西弁の言葉のリズムがとても楽しく、最後に一言「まっ、ぼちぼちいこかということや」と呟くおおらかさにふっと心が和みます。

仕事も、勉強も、ボランティアも…このへんでちょっと肩の力を抜いて、ぼちぼちいきましよう。 by 



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

- ◆サポートセンターの日…毎月テーマを変えて、交流会をしています。
- ◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17：00～21：00
日曜・祝日 13：00～17：00
- ◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

—利用時間— 月曜日～土曜日《10：00～21：00》
日曜日・祝日 《10：00～17：00》

【休館日】5月29日（木）6月12日（木）26日（木）